

広報課からのお知らせ

テレビ テレビ和歌山 WTV

- きのくに21 日曜 9:30・(再) 18:30
2月 2日 地域を支える自主防災組織
2月 9日 外来生物問題について考える
2月16日 食の安全を学ぼう
2月23日 インターネットと人権

県民チャンネル
月・火・木・金・土曜 21:55

マンスリー県政 ニュースワイド
毎月最終金曜 19:30

ラジオ 和歌山放送 WBS

県庁だより 毎日 11:40・(再) 18:00
※土・日曜は再放送がありません。

ラジオでお届け!県政最前線 火曜 15:40
放送内容・時間は都合で変更する場合があります。

第19回 和歌山県 市町村対抗ジュニア駅伝競走大会
交通規制のお知らせ

2月16日(日)
11:00~

紀三井寺公園スタート
当日10:45頃~12:50頃まで、区間ごとに交通規制を行いますのでご協力をお願いします。

各市町村代表の小・中学生が和歌山市内(紀三井寺公園~和歌山マリーナシティ~和歌浦~雑賀崎~県庁)の21.1km(10区間)を駆け抜けます。ご声援よろしくお祈りします。
問:県教育庁スポーツ課



通行禁止 通行規制 通行可能 車線規制あり

知事メッセージ

県民の皆様へ



「他県では」

県政を議論している時に気になることの1つによその県ではどうしているのだろうかということがあります。

和歌山県では、東日本大震災の悲劇を検証したり、被災県を助けに行ったりした時の経験から、また同年の紀伊半島大水害やその後の度重なる台風や水害の時の手ひどい痛みから、最新のテクノロジーやコンピュータシステムを取り入れて、自分で言うのも変ですが、レベルの高い防災システムを持っています。

海洋研究開発機構と共同開発をしたDONETを使った地震発生時の潮位の実測に基づく津波の到達予測など、たくさんの工夫があって、他の県でも役に立つはずだから、国や他県も真似をしたらよいのと思うし、日本人としてそれは歓迎する所ですが、あまりそういう動きにはなりません。

和歌山県は、他県のいいシステムはどんどん採用しようとして、随分成果を上げているものもあります。このように、人のいい所はどんどん取り入れたらいいと思うのですが、そのためには、我々はいつもアンテナを高くして、世の中の動きや仕組みを勉強していなければならず、このことは、自分が努力するのみならず県の職員にも奨励しています。

一方、この勉強が、片寄っていたり、評価する能力がないと、何でもよそのものがよく見えて、「〇〇では、こうだ」と、本当は自分の方が進んでいるのに、卑下したり非難したりすることも起こりがちです。こういうのを「出羽(では)の守」と言います。

一方、せっかく先進的で建設的なことを企画しているのに、横並びばかり気にして、他県がやっていないとそこへ進む勇気が持てないというようなケースもよく目にします。

「全国ではまだ1/3ぐらいの県しか採用していないので時期尚早かと」といった類です。

このように「他県では」といった考えは、いい場合も悪い場合もありますが、すべての場合に、まず周りのことも自分のこともよく勉強し、その利害得失を理解し、やろうと思ったら「千万人と雖も吾往かん」の勇気が必要でしょう。

和歌山県知事 仁坂 吉伸

広告 県収入の一部とするため有料広告を掲載しています。県庁広報課 ☎073-441-2032



手話表現紹介動画はこちらから